

**一般財団法人三重YMCA  
2024年度事業計画書**

【計画期間：2022年度～2024年度】

**§1 意義**

一般財団法人三重YMCAは、キリスト教精神をもとにしつつ、宗教、国、政治、人種などの枠を超えて、課題にある青少年の痛みを受け止め、彼らが個人として、また社会人として課題に向き合い、解決していく力をもった人に成長すること願い、そのために必要な諸活動を営む社会教育団体である。

また、高齢化社会にあって、彼らが高齢者になっても、そのおかれた環境のなかでポジティブに生きることができることを願い、ウェルネスを諸活動に置く。

※「ウェルネス」とは、各人が、与えられたその状況の中で、自らの潜在的な可能性を最大限に求める生き方です。身体的健康、精神的健康、知的健康、情緒的健康及び社会的健康のそれぞれについて、これらがより良い状態へと統合され、より望ましい人となることを目標とするものです。

**【年間聖句】**

「ひとびとは東から西から、また南から北から来て、神の国で宴会の席に着く。」  
(ルカによる福音書13章29節)

**§2 経営理念（ミッション・ステートメント）**

三重YMCAは、イエス・キリストによって示された愛と奉仕の精神にもとづき、次の使命を果たすための活動を展開します。

- 1 すべての人が、生涯をとおして人間らしく成長することを願い、ボランティアの育成と共に学び合う教育に力を注ぎます。
- 2 お互いの人権を尊重し、共に生きる福祉社会と、すべての生命が守られる環境の実現に努めます。
- 3 歴史に学び、互いの文化を理解し、正義と平和のために、世界の人びとと共に歩みます。
- 4 常に何が正しいのかを、共に考え、話し合い、実践する社会の実現をめざします。

**§3 経営ビジョン**

「人々が集い、弾ける笑顔にであう場となっている」

**§4 経営目標（2022～2024年度）**

幼児・青少年が心身の健全な成長をはかれる活動を実践する

**§5 重点施策（2024年度）**

2023年度は、財団法人・YMCA 幼児園を取り巻く環境が変化した年であった。これに的確に対応するため、2024年度は次の内容に取り組む。

- 1 YMCA 幼児園は、1・2歳児保育を充実する

YMCA 幼児園は、1・2歳児が増加している。このため四日市市幼児教育センターの巡回指導を仰ぎ、1・2歳児の保育を適切に行う。

また、社外の研修会に積極的に参加し、保育士の能力向上に努める。

- 2 社外コンサルタントの活用をはかり、財団法人の今後の事業内容を模索し、実施する。  
財団法人は設立40年を経過したが、事業内容は減少してきた。また新しい役員は、財務状況やクリスチャン条項が支障となって獲得できず、後継者問題を抱えている。あわせて次の事業が見えていない。  
このため社外コンサルタントの活用をはかり今後の道筋を模索し実施する。また、他法人との連携等を模索する。
- 3 財団法人としての賛助会を立ち上げる。  
任意団体三重YMCAは、2024年3月末をもって解散することが常議員会にて決議された。この結果、三重YMCAを支える会員がいなくなることになる。このためYMCA運動の担い手である会員を改めて募集し、会員組織である賛助会を立ち上げる。

## § 6 2024年度の具体的計画

- 1 YMCA 幼児（含む：幼児英語・体操・クラフト教室、幼児教育事業）  
YMCA 幼児園は、英語・体育・野外活動という特徴を活かしつつ、1・2歳児の受入れを進めるとともに、保育内容を充実する。このため、四日市市幼児教育センターの巡回指導を仰ぐとともに、外部研修を受講し、保育士の能力向上をはかる。  
また、保育士を確保し、人的内容を充実する。
- 2 小学生体操教室（青少年事業）  
幼児・小学生の体操教室を実施する。なお、講師確保のむつかしさから開校日を変更する。
- 3 ピアノ・小学生クラフト教室（音楽等教室事業）  
ピアノ・小学生クラフト教室を開催する。
- 4 TOEIC会場運営の受託（語学検定受託事業）  
一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会から、TOEIC公開テストの会場運営業務を受託する。9回の予定である。
- 5 法人関係
  - (1) 外部コンサルタントの活用をはかり、今後の財団法人の在り方、事業内容を模索し、実現する。また、他法人との連携を模索する。
  - (2) 財団法人の賛助会員を改めて募集し、賛助会員組織を立ち上げる。

## § 7 2024年度収支予算書（案）

資料1のとおり

以 上